

## 水戸市産業振興計画審議会における意見及び対応一覧

頁	項目	御意見・修正案等	意見等に対する対応案
-	構成	ビジョンの全体がわかりづらい。第2章の「水戸市経済の現状と分析」については、分析の結果が基本方針に結びついていないので、章末に移動し、目指す姿を計画の序盤に位置付けることで、計画全体がわかりやすくなる。	第2章を関連資料へ移動しました。
1	1 計画策定の趣旨	人口減少が経済に与える影響について言及されていない。加筆すべきである。	<p>下記に修正しました。</p> <p><u>全国的に人口減少、少子化の流れが続く中、本市においても、将来的には人口減少に転じることが見込まれます。しかしながら、急激な人口減少は、労働力の低下、消費需要の縮小など、経済面に大きな影響をもたらすことが懸念されるどころです。</u></p> <p><u>そのような中、政府においては、20年以上も続いた日本経済の低迷によって生じた、ヒト・モノ・カネの構造的なよどみを解消すべく、成長戦略が推進されているところであり、「稼ぐ力」を取り戻す、「担い手を生み出す」、「新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業の育成」、「地域活性化と中堅・中小企業・小規模事業者の革新／地域の経済構造改革」を柱とした施策を展開することとしています。</u></p> <p><u>人口減少に伴う地域経済の縮小は、住民の経済力の低下につながり、地域社会の様々な基盤の維持を困難としていることから、活力あるまちづくりに向けては、地域経済の持続的な成長を目指していかなければなりません。</u></p>
4	1 目指す姿	目指す姿を掲げているが、読んだだけでは具体的にイメージがしづらいため、目指す姿について、よりわかりやすく説明すべきである。	<p>下記に修正しました。</p> <p><u>水戸市は県都であり、県内で人口規模が最も大きいことに加え、昼間人口比率も高く、商圏人口は約80万人を誇る県内経済の中心となっています。</u></p> <p><u>本市産業の中核である商業・サービス業のほか、食料品製造や印刷等の都市型工業が成長してきた工業、県内有数の経営耕地面積を擁する農業などの各産業が本市経済をけん引してきたところ</u>です。</p>

			<p>また、<u>借楽園や弘道館に代表される歴史資源をはじめ、芸術や文化など、豊富な地域資源を有しており、観光をはじめとした、これらに関連する産業も育つ環境にあります。</u></p> <p><u>このようなことから、本ビジョンでは、総合計画における将来都市像の実現に向け、取り組むべき課題をしっかりと見据え、水戸らしさや水戸の独自性、特徴を生かしながら、商工業を中心として、地域に根差した産業の強化と新たな産業の育成を相互に促進させることにより、様々な産業間での連携が継続的に生み出され、将来に渡って地域の経済が自ら成長し続けられる社会の構築を目指します。</u></p>
5 (7,8)	2 基本方針 (4 施策の体系)	<p>「1 既存事業者の支援」については、重要な要素ではあることはわかるが、持続可能な経済を確立するためには、現状維持では目標指標を達成できないことから、基本方針からは外して、基本施策に位置付けるべきである。</p> <p>また、基本方針の下に位置付ける基本施策については、このビジョンで最も重要である、産業間の連携を考慮して再編すべきである。</p>	御意見の通り対応しました。 (ビジョン案 P5, P7, P8 参照)
6	3 目標指標	<p>目標値をこのように定めた理由と根拠を明記するべきである。</p>	<p>下記に修正しました。</p> <p><u>本ビジョンにおいては、水戸市第6次総合計画で掲げる目標指標との整合を図るとともに、商業をはじめとした市内産業の振興、企業・事業所の新規立地による地域経済の活性化、市民の就業機会のさらなる充実の観点から、計画の目標年次（2023（平成35）年）における目標指標を次のとおり設定します。</u></p>
9 ～ 24	第3章 施策の展開	<p>産業間の連携を重視するに当たり、事業者の方々にわかりやすくするために、施策のメリハリやウエイト付けをするなどしてはどうか。</p> <p>産業の連携がどのように図られるのかイメージしやすいように、先進地の事例など、具体例を載せてはいかかがか。</p>	<p>本ビジョンは、ビジョンという性質上、施策を幅広くとらえられるように表現しています。</p> <p>今後、各産業別の個別計画の中でさらに具体的に事業が表現されることとなりますが、本ビジョンの進行管理の中でこれら事業の優先順位の検討や評価を行ってまいりたいと考えています。</p>

10	基本施策 (1) 1次,2次,3次 産業の融合 ○6次産業化 の推進	農林水産業の6次産業化と読めない ので表現を改める。	以下に修正しました。 <u>・・・農産物の加工・流通・販売, 地産地消, 観光農業などの地域資源を活かし,・・・</u>
	○産業連携 の促進	複合型工業の意味が分からない。	「複合型工業」を「複合型工場」 に修正しました。
11	基本施策 (2) 事業の高度 化・イノベ ーションの促 進	「現状と課題」について, 短期 景気などが説明されているが, 水 戸市の取組の現状と課題に言及 すべきである。	以下に修正しました。 本市では市内事業所数と市内 従業者数の増加がみられるもの の, <u>市内総生産が減少しており,</u> <u>コスト競争による価格の低下等</u> <u>により事業所あたりの生産額が</u> <u>減少している状況がみられます。</u> <u>各事業所の技術, 商品の需要を</u> <u>増やし地域経済を活性化させる</u> <u>ためにも, 事業の高度化や産学官</u> <u>連携による新規事業を促す取組</u> <u>が求められています。</u>
13	基本施策 (3) 企業立地の 促進	同上	以下に修正しました。 本市の経済の状況をみると, <u>近</u> <u>年の産業のグローバル化の進展</u> <u>や都心への人口の一極集中など</u> <u>の影響により, 市内総生産におい</u> <u>て, すべての産業で減少傾向にあ</u> <u>ります。</u> <u>このような中, 雇用の場の確保</u> <u>を図るため, 事業所等の立地を促</u> <u>進する支援制度の創設など, 新た</u> <u>な産業の誘致, 育成を図ってきた</u> <u>ところですが, 都市の空洞化に歯</u> <u>止めがかかっていないことから,</u> <u>今後, 都市の持続的な成長を確保</u> <u>していくためには, 企業の流出を</u> <u>防ぐとともに, 企業誘致のさらな</u> <u>る取組の強化が求められていま</u> <u>す。</u>
	○企業誘致 の強化	「施策の展開」中の「土地情報 の把握・提供するシステム」がわ からない。	以下に修正しました。 <u>・・・誘致活動の円滑化を図る</u> <u>ため, 立地を希望する企業に不動</u> <u>産情報を提供できるようなしく</u> <u>みを構築するとともに・・・</u>
		また, 「主な施策」中, 「工業流 通系土地整備の促進」は「企業誘 致のための土地整備支援策の検 討」なのではないか。	御意見の通り対応しました。

15	基本施策（4） 起業支援の 充実	<p>「現状と課題」について、短期景気などが説明されているが、水戸市の取組の現状と課題に言及すべきである。</p> <p>特に、「新陳代謝」という単語を使用するためには、開業だけではなく廃業も促すべきであることから、用語の使用は控えるべきである。</p>	<p>以下に修正しました。</p> <p><u>本市の市内総生産の割合は、全体の90パーセント以上を第3次産業が占める構造となっていますが、近年は中心市街地の空き店舗が増加するとともに、市内総生産の減少が続いています。</u></p> <p><u>このような中、新たな事業所が継続的に起業される環境の整備が求められていることから、平成26年に創業支援事業計画を策定したところであり、今後、事業の着実な展開により、市内産業の活性化を図る必要があります。</u></p>
		<p>「施策の方向性」について、「中小企業者の革新を図る」というロジックが納得できないので、「中小企業の第二創業を促す」といった表現に改めるべきである。</p>	<p>御意見の通り修正しました。</p>
18	基本施策（5） 特色ある地域 資源の活用 ○販路拡大の 推進	<p>水戸ブランド品の海外市場開拓を積極的に推進するのであれば明記すべきである。</p>	<p>以下に修正しました。</p> <p><u>・・・関連機関との連携により国内外の市場の開拓を図ります。</u></p>
19	基本施策（6） 観光に着目した 産業の育成	<p>「現状と課題」について、「・・・経済波及効果を高める成長産業である観光産業」の意味が分からないので修正すべきである。</p> <p>施策の展開の中に、外国客に向けた施策を入れてはどうか。</p>	<p>以下に修正しました。</p> <p><u>・・・観光客の消費活動により経済波及効果が見込まれる観光について・・・</u></p> <p>20ページの主な取組において「国際観光（インバウンド観光）の推進」を位置付けております。</p> <p>また、具体的な取組につきましては現在策定中の「水戸市観光基本計画」に位置付けてまいります。</p>
21	基本施策（7） 既存事業者 の支援	<p>（基本方針に対する意見に基づき、「安定した経営基盤の確立」に替えて「既存事業者の支援」を位置付けることとした。）</p>	<p>項目の修正に伴い、「現状と課題」について、以下のとおり修正した。</p> <p><u>本市経済を取り巻く環境は、個人消費の低迷や消費行動の多様化等から、市内総生産の減少傾向がみられるとともに、大型店の郊外化等の影響により、中心市街地においては空き店舗率の増加や歩行者通行量の減少などの影響が出ています。</u></p> <p><u>そのような中、今後、本市の産業が生き残るためには、特色のある産業の育成に係る既存事業者の経営基盤の強化や都市の効率化を図る必要があります。</u></p>

22	○ 中心市街地活性化の推進	現在の水戸市の問題は中心市街地活性化だと思う。空き店舗の活用など、若い人の発想などにより活性化につながる取組を推進していくべきである。	中心市街地活性化は本市の重要な課題として認識しています。具体的な取組につきましては、現在策定中の中心市街地活性化ビジョンにおいて整理してまいりたいと考えています。
23	基本施策(8) 産業を支える人材確保・育成	「施策の展開」の「○後継者の確保・育成」については、主な取組に直結しないので、「○若者や女性の雇用促進」と名称を改め、主な取組に「女性の活躍できる企業環境整備に対する支援の検討」を位置付けるべきである。	御意見の通り対応しました。
27	1 関係者間の連携による推進	産業振興のために事業者間の連携が重要なのであれば、市が積極的に支援するように表現すべきである。	御意見の通り対応しました。
28	2 進行管理	他市との比較に基づく施策の改善や関連機関との連携など、現状分析などに基づく施策の改善をすぐに反映できないのであれば、PDCAサイクルによるビジョンの進行管理を行うこととなっているのでその中で改善してはどうか。	下記に修正しました。 「PDCAサイクル」により、 <u>他市の取組や関連機関との連携の状況なども踏まえ、ビジョンに位置付けられた・・・</u>
		効果の検証を行うに当たっては各施策の一覧や費用対効果だけでなく他市の先進事例なども載せ、比較検討できるようにしてもらいたい。	御意見の通り対応します。

※ その他、細かい修正やグラフ等の単位の標記修正などについては、省略させていただきました。